

環境部

令和6年度を振り返って

環境部長 神田 直貴

環境部では若槻まちづくり計画に基づき以下の7つの事業を実施してまいりました。地区の自然環境部員や協力団体と連携して実施出来、関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

1. 外来及び有害植物の駆除

生態系に影響を与えるアレチウリなど駆除を区長はじめ OBの方々に協力をお願いして実施し、きれいなまちづくりに努めました。

2. ホタルの里化

土京川の河川の草の除去やホタル学習会を開きホタルの住みよい環境に努め、ホタル鑑賞会を実施し、多くの鑑賞者に会場していただきました。ホタルサポーターズクラブと連携し、今後もカワフナ育成・水路改良など生息環境の拡大について検討していきます。

3. 溜池・河川水質調査

地区内の溜池や河川の水質調査を部会員を中心に区長や OBと協力して実施し、水質の変化や異常の早期発見に努めました。

4. 自然観察学習会開催

昭和の森公園を中心に子供達に自然とふれあう機会を提供し、大勢の方々に参加してもらいました。(椎茸コマ打ち・バードウォッチング)

5. 若槻自然遺産の活用

一般参加者を集い、コースマップの3つのコースで散歩会を実施いたしました。周遊コースに設置する現地案内標識及び説明板を作成し、次年度は設置を進めます。

6. 環境問題の啓発

家庭生ゴミの堆肥化(段ボール堆肥)講習会を開催し、住民の環境問題への理解と啓発を図りました。堆肥の有効利用として、花など育ててもらえればと思います。

7. 「SDGs」家庭廃棄物に向けた取り組み

家庭廃棄物削減を目的とした子供服の交換会を実施いたしました。今後も参加者の意見を取り入れながら子供服に限らず進めていきます。



福祉健康部

令和6年度事業を振り返って

福祉健康部長 佐藤 敏彦

令和5年5月に、コロナ感染症が5類に移行してからは感染症に留意しつつ事業の拡大に取り組み、本年度は当初計画を実施出来ました。

1. 福祉推進員・健康委員・(地区によっては民生委員)が地区単位で取組んだ事業

①「サロン事業」

前年度までは、コロナ下での開催縮小の影響が残っていましたが、今年度は各区積極的に「サロン活動」が実施されました。脳トレ、ゲーム、歌、落語等を行い、参加者も各回約20~30名と多数の参加がありました。アイデアを出し合い、お年寄りが安心して集まれる憩いの場づくり事業を実施しました。

②「はつらつ体操」

全10地区で実施され、各区で10~40名の参加者があり毎週開催されました。

③「健康講座」

はつらつ体操とセットにしたりなど、かかりつけ医を持つことや、緊急応急手当の勉強会など、地区毎に工夫を凝らした取り組みが行われました。

2 福祉健康部(福祉部会と健康部会の単独事業又は共催事業)が主催した事業

①「介護の集い」

「認知症の人への理解と対応について」をテーマに、「おばあちゃんがいなくなった」の寸劇とクイズで学び、実際に介護をしている人のお話を聞くなど認知症への理解を深めました。

②「健康食講座」

吉田保健センターから管理栄養士の先生をお招きして、短鎖脂肪酸をどうやって増やすかの講座を開催

し、その後、食物繊維が豊富な野菜を使った料理を作りました。

③「男性の料理教室」

若槻食生活改善推進協議会の協力のもと、2回料理教室を開催しました。

④「若槻地区福祉大会」

ご近所福祉クリエイター酒井保氏による、「これまで」と「これから」のつながりを考える」というテーマでの基調講演と、各地区毎の福祉活動状況発表会を行いました。副区長、民生委員、はつらつ体操主催者、他地域福祉ワーカーさんなど、60名以上の参加者で開催出来ました。各地区の活動内容を共有することにより、次年度への活動につながることを期待して開催しております。

3 その他、「地域たすけあい事業」(家事援助サービス、福祉移送サービス)等

公共交通機関を利用できないお年寄りのため福祉自動車による病院等の送迎、家事援助サービスを実施しました、このほか、「お母さんのなんでもトーク」「婚活支援事業」「花があふれ虫の声が聞こえる町づくり事業」等を実施しました。



介護のつどい寸劇上演